

大会名 Competition	第32回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-104	Year Month Day Time 2019 年 5 月 3 日 15 : 20
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
洛 南	70 ●	開志国際
	15 1st 17 5 2nd 27 19 3rd 27 31 4th 23 0 T	94 ○

主審:Crew chief
山田 俊 宮城
副審:Umpire
村上智志 山形
田中直幸 秋田
テーブルオフィシャル: Table officials
能代工業高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4		北橋 岳洋		-	-	-	-	0	4	×	高木 拓海	CAP	11	1	4	0	0
5	×	星川 堅信	CAP	7	0	3	1	1	5	／	板澤 明日起		9	1	3	0	1
6	／	藪田 陽大		0	0	0	0	0	6	×	永原 陸		0	0	0	0	1
7	／	榎野 伶		11	3	1	0	1	7	／	吉川 瑠		0	0	0	0	0
8	／	井関 傑		1	0	0	1	0	8	／	渡邊 渉太		2	0	1	0	0
9	／	熊田 彩人		3	1	0	0	0	9	／	西村 洸星		2	0	1	0	0
10	／	北川 舜		0	0	0	0	2	10	／	星 一輝		0	0	0	0	0
11	×	小川 敦也		10	0	5	0	2	11	／	小島 一真		12	2	3	0	2
12	×	浅野 ケニー		11	1	3	2	1	12	×	小野 功稀		3	1	0	0	0
13	×	松山 雄亮		6	0	3	0	4	13	×	ジョーンズ 大翔		10	0	5	0	1
14	×	西村 慶太郎		8	0	4	0	2	14	×	JOOF YUSUF		10	0	5	0	2
15	／	大石 日向		8	0	4	0	1	15	／	OKOYE PETER JUNIOR		20	0	9	2	0
16	／	大西 一輝		5	1	1	0	0	16	／	石原 史隆		3	1	0	0	2
17	／	山岸 優介		0	0	0	0	0	17	／	田村 歩夢		3	1	0	0	0
18	／	大長 勇也		-	-	-	-	0	18	／	白澤 朗		9	1	2	2	1
コーチ		吉田 裕司						0	コーチ		富樫 英樹						0
アシ		河合 祥樹						0	アシ		津野 祐樹						0
合 計				70	6	24	4	14	合 計				94	8	33	4	10

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	11	15.71%	榎野 伶
2	11	15.71%	浅野 ケニー
3	10	14.29%	小川 敦也

1	20	21.28%	OKOYE PETER JUNIOR
2	12	12.77%	小島 一真
3	11	11.70%	高木 拓海

Score ranking[Game]

1	20E PETER JUNIOR	開志国際	2	12	小島 一真	開志国際	3	11	榎野 伶	洛 南
---	------------------	------	---	----	-------	------	---	----	------	-----

1Q開始直後に開志国際#14JOOFがダンクシュートで決戦の火ぶたを切るが、その後は洛南の好ディフェンスに阻まれ4分以上無得点となる。洛南は#5星川のジャンプシュートなどで序盤のリードを握る。6-2から開志国際#4高木が3P、速攻などで得点し、シーソーゲームとなる。洛南は#5星川や#11小川が、開志国際は、#13ジョーンズが得点し、15-17で終了する。

2Qは、開志国際#15OKOYEの一人舞台。3本のダンクシュートを含む10点をこのQだけで重ねる。得点の他にも長いリーチを生かしたインターセプトやリバウンドなどその能力をいかんなく発揮した。洛南は、#9熊田の3Pなどで一矢報いたが、5得点にとどまり、開志国際にリードを広げられた。20-44で前半終了。

3Qは動きの多いQになった。洛南は、#14西村のドライブや#16大西の3Pなどで得点する。開志国際は、#4高木の目を見張るようなアシストから#14JOOFがアリウープを決めるなどゴール下で着実に加点する。39-71でこのQを終える。

4Q、洛南は、#7榎野が3本の3Pを決めるなど追い上げを見せる。開志国際は、選手交代を繰り返しつつ、リードを保った試合展開を見せる。70-94で試合終了。開志国際が2勝目を上げた。